

職業選択のプロセス

職業選択は「自己理解」に始まり、「職業理解」そして「自分を活かす職業」を選ぶといった流れが理想的

自分を理解する

- ・高校生活を振り返る。
- ・何がしたいか、何ができるかを考える。
- ・自分の長所を掘り起こし、アピールポイントを見つける。

職業について知る

- ・社会にはどんな仕事があるのか調べる。
- ・職業の特徴を知る。
- ・どうすればその職業に就くことができるか調べる。

自分の希望は何かを知る

- ・希望勤務地、希望業種、希望職種、賃金、勤務時間、休日など、労働条件の主な希望は何か。
(希望とは逆に自分の希望ではない職業や条件は何かも考えてみる)

自分を活かす職業を選ぶ

- ・自分の選んだ職業の内容を十分理解したか。
- ・その仕事が好きか。
- ・その仕事に打ち込めるものがあるか。
- ・その仕事に自分の果たしたい役割はあるか。

業種

職種

と

の違い

「事務的職業」は、業種によって、多少内容が異なることがあります。

「業種」とは、それぞれの企業が属している業界の種類のことです。例えば「製造業」「建設業」などです。次に「職種」とは、職務内容によって分けた仕事のことです。「サービスの職業」「事務的職業」などをいいます。このことから、「業種」は企業が、主に取り扱っている業務のこと、「職種」はその企業の中で従事する仕事のことと覚えるとよいでしょう。建設業の企業に勤めたからと言っても、全ての人が建設の仕事に直接、従事するわけではありません。企業の中にはさまざまな職種が混在しているのです。

業種

- | | |
|-----------------|---------------------|
| A 農業、林業 | K 不動産業、物品賃貸業 |
| B 漁業 | L 学術研究、専門・技術サービス業 |
| C 鉱業、採石業、砂利採取業 | M 宿泊業、飲食サービス業 |
| D 建設業 | N 生活関連サービス業、娯楽業 |
| E 製造業 | O 教育、学習支援業 |
| F 電気、ガス、熱供給、水道業 | P 医療、福祉 |
| G 情報通信業 | Q 複合サービス事業 |
| H 運輸業、郵便業 | R サービス業（他に分類されないもの） |
| I 卸売業、小売業 | S 公務（他に分類されるものを除く） |
| J 金融業、保険業 | T 分類不能の産業 |

※総務省日本標準産業分類（平成26年4月1日施行）より

職種

- 01 管理的職業
- 02 研究・技術の職業
- 03 法務・経理・文化芸術等の専門的職業
- 04 医療・看護・保健の職業
- 05 保育・教育の職業
- 06 事務的職業
- 07 販売・営業の職業
- 08 福祉・介護の職業
- 09 サービスの職業
- 10 警備・保安の職業
- 11 農林漁業の職業
- 12 製造・修理・塗装・製図等の職業
- 13 配送・輸送・機械運転の職業
- 14 建設・土木・電気工事の職業
- 15 運搬・清掃・包装・選別等の職業

※厚生労働省職業分類（令和4年4月改訂）より